

授業科目	*生活援助技術論演習					実務家教員担当科目	○
単位	2	履修	必修	開講年次	1	開講時期	後期
担当教員	隅田 由加里、梶原 江美、幸 史子、長崎 恵美子、中島 紀江、西田 彩子						
授業概要	<p>生活者である看護の対象者が日々行っている生活行動の意義と特徴を踏まえ、療養における適切な看護を実践するうえで必要となる基本的知識を学習する。さらに自分で日常生活行動が行えない、もしくは制限がある対象者が人間的で健康的な生活を送ることができるよう、対象者のニーズやセルフケア能力も加味しながら、安全・安楽・自立を軸とする基本的な技術を修得する。具体的には、既習科目である看護技術論演習を基に「睡眠・休息」、「褥瘡予防」、「活動」、「清潔・衣生活」、「食事」、「排泄」を単元として、各単元の看護援助についての基本的な知識・技術・態度の修得を目指す。さらに、統合演習では既習の知識や講義・演習での知識を活用し、事例患者に即した生活援助技術を科学的根拠に基づいて探求し実践する。</p> <p>以上のこととは、実務家教員として大学病院や中核的基幹病院の複数の部署で、様々な状況にある患者に生活援助技術を提供してきた経験もつ教員が担当する。</p> <p>なお、本科目は1回に2コマ連続で実施する。</p>						
授業形態	対面授業			授業方法	Google classroom の活用 アクティブラーニング（講義⇒演習⇒ディスカッション⇒グループワーク）の活用 動画の活用		

学生が達成すべき行動目標

標準的レベル	1. 自らの生活行動を想起して援助に生かすことができる。 2. 日常生活行動を促す看護援助に必要な基本的知識を、意義、目的、方法、留意点の観点から整理し修得できる。 3. 日常生活行動に支障が生じた場合の看護援助の必要性と適切な方法について、既習の知識や科学的根拠を活用しながら、演習事例に沿って論理的に思考・判断できる。 4. 日常生活行動に支障が生じた場合の看護援助を、援助を受ける人の気持ちにも目を向けながら、安全・安楽・自立の観点から原理・原則に沿って実施できる。 5. 看護専門職者としてふさわしい誠実な態度について考え、決められたルールを守り報告・連絡・相談ができる。また、その修正行動がとれる。
	1. 自らの生活行動を想起して援助に生かすことができる。 2. 日常生活行動を促す看護援助に必要な基本的知識を、意義、目的、方法、留意点に加え、疾患や状況に合わせて適応、禁忌、観察項目などを追加するなど理解を促す工夫をして整理できる。 3. 日常生活行動に支障が生じた場合の看護援助の必要性と適切な方法について、既習の知識や科学的根拠を活用しながら、演習事例に沿って論理的に思考・判断し記述できる。 4. 日常生活行動に支障が生じた場合の看護援助を、援助を受ける人の気持ちにも目を向けながら、安全・安楽・自立の観点から原理・原則に沿って実施できる。また、不測の事態への対応を臨機応変に実施できる。 5. 看護専門職者としてふさわしい誠実な態度について多角的に考え、決められたルールを守り報告・連絡・相談が建設的にできる。また、その修正行動がとれる。
理想的レベル	1. 自らの生活行動を想起して援助に生かすことができる。 2. 日常生活行動を促す看護援助に必要な基本的知識を、意義、目的、方法、留意点に加え、疾患や状況に合わせて適応、禁忌、観察項目などを追加するなど理解を促す工夫をして整理できる。 3. 日常生活行動に支障が生じた場合の看護援助の必要性と適切な方法について、既習の知識や科学的根拠を活用しながら、演習事例に沿って論理的に思考・判断し記述できる。 4. 日常生活行動に支障が生じた場合の看護援助を、援助を受ける人の気持ちにも目を向けながら、安全・安楽・自立の観点から原理・原則に沿って実施できる。また、不測の事態への対応を臨機応変に実施できる。 5. 看護専門職者としてふさわしい誠実な態度について多角的に考え、決められたルールを守り報告・連絡・相談が建設的にできる。また、その修正行動がとれる。

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	60%	定期試験で評価する

第7回	<p>【清潔・衣生活の援助技術②】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・清拭 <p>[演習：中島 / 長崎 / 西田 / 梶原]</p>
第8回	<p>【清潔・衣生活の援助技術②：2コマ連続で行う】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・清拭 <p>[演習：中島 / 長崎 / 西田 / 梶原]</p>
第9回	<p>【清潔・衣生活の援助技術③】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・足浴 <p>[演習：隅田 / 幸]</p>
第10回	<p>【清潔・衣生活の援助技術③：2コマ連続で行う】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・足浴 <p>[演習：隅田 / 幸]</p>
第11回	<p>【清潔・衣生活の援助技術④】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・洗髪 <p>[演習：西田 / 隅田 / 長崎 / 中島 / 梶原 / 幸]</p>
第12回	<p>【清潔・衣生活の援助技術④：2コマ連続で行う】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・洗髪 <p>[演習：西田 / 隅田 / 長崎 / 中島 / 梶原 / 幸]</p>
第13回	<p>【清潔・衣生活の援助技術⑤】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・清潔・衣生活の援助技術のグループワーク <p>[グループワーク：西田 / 隅田]</p>
第14回	<p>【清潔・衣生活の援助技術⑤：2コマ連続で行う】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・清潔・衣生活の援助技術のグループワーク <p>[グループワーク：西田 / 隅田]</p>
第15回	<p>【食事の援助技術①】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事に関する基本的知識 <p>[講義：梶原]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口腔ケアに関する基礎的知識 <p>[講義：西田]</p>
第16回	<p>【食事の援助技術①：2コマ連続で行う】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事に関する基本的知識 <p>[講義：梶原]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口腔ケアに関する基礎的知識 <p>[講義：西田]</p>
第17回	<p>【食事の援助技術②】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事介助 <p>[演習：梶原 / 幸]</p>

第 18 回	<p>【清潔の援助技術⑥】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口腔ケア <p>[演習：西田 / 隅田 / 長崎 / 中島]</p>
第 19 回	<p>【排泄の援助技術①】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・排泄に関する基本的知識 <p>[講義：中島 / 隅田]</p>
第 20 回	<p>【排泄の援助技術①：2コマ連続で行う】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・排泄に関する基本的知識 <p>[講義：中島 / 隅田]</p>
第 21 回	<p>【排泄の援助技術②】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陰部洗浄とおむつ交換 <p>[演習：中島 / 隅田 / 長崎 / 西田 / 梶原 / 幸]</p>
第 22 回	<p>【排泄の援助技術②：2コマ連続で行う】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陰部洗浄とおむつ交換 <p>[演習：中島 / 隅田 / 長崎 / 西田 / 梶原 / 幸]</p>
第 23 回	<p>【統合演習①】</p> <p>事例に合わせた看護技術の実践：実技試験技術課題の援助計画立案</p> <p>[演習：隅田 / 長崎 / 中島 / 西田 / 梶原 / 幸]</p>
第 24 回	<p>【統合演習①：2コマ連続で行う】</p> <p>事例に合わせた看護技術の実践：実技試験技術課題の援助計画立案</p> <p>[演習：隅田 / 長崎 / 中島 / 西田 / 梶原 / 幸]</p>
第 25 回	<p>【統合演習②】</p> <p>事例に合わせた看護技術の実践：作成した援助計画の模擬的実践と修正</p> <p>[演習：隅田 / 長崎 / 中島 / 西田 / 梶原 / 幸]</p>
第 26 回	<p>【統合演習②：2コマ連続で行う】</p> <p>事例に合わせた看護技術の実践：作成した援助計画の模擬的実践と修正</p> <p>[演習：隅田 / 長崎 / 中島 / 西田 / 梶原 / 幸]</p>
第 27 回	<p>【統合演習③】</p> <p>事例に合わせた看護技術の実践：実技試験</p> <p>[演習：隅田 / 長崎 / 中島 / 西田 / 梶原 / 幸]</p>
第 28 回	<p>【統合演習③：2コマ連続で行う】</p> <p>事例に合わせた看護技術の実践：実技試験</p> <p>[演習：隅田 / 梶原 / 長崎 / 中島 / 西田 / 幸]</p>
第 29 回	<p>【統合演習④】</p> <p>事例に合わせた看護技術の実践：実技試験のフィードバック</p> <p>[講義：隅田]</p>
第 30 回	<p>生活援助技術論演習のまとめ（知識・技術）</p> <p>[講義：隅田]</p>
テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ・新体系 看護学全書 基礎看護学②③ 基礎看護学技術 1・2 (メジカルフレンド社) ・新体系 看護学全書準拠 基礎看護学まとめノート (メジカルフレンド社)

参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・「系統看護学講座 専門Ⅰ 基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学③」(医学書院) ・ナーシンググラフィカ 基礎看護学③ 基礎看護技術 (メディカ出版) ・深井喜代子編著：基礎看護技術ビジュアルブック 手順と根拠がよくわかる (照林社) ・深井喜代子監修：ケア技術のエビデンス（1）（2）実践へのフィードバックで活かす（へるす出版） <ul style="list-style-type: none"> ・大久保陽子編：日常生活行動からみるヘルスマセメント 看護 形態機能学の枠組みを用いて ・藤本真記子ら監修：看護技術がみえる① 基礎看護技術 (メディックメディア) ・佐藤久美ら監修：看護技術がみえる② 臨床看護技術 (メディックメディア) ・山口瑞穂子編著：看護技術 講義・演習ノート 第2版 上巻 日常生活援助技術編 (サイオ出版)
課題に対するフィードバックの方法	<p>課題の質問に対する回答は、Google classroom を通じて全体に周知する。</p> <p>統合演習のフィードバックは授業内に行う。</p> <p>ポートフォリオは評価後、定期試験前までに返却する。</p>
学生へのメッセージ・コメント	<p>この科目は、皆さんが日頃行っている日常生活行動を、専門的知識と科学的根拠を踏まえた看護技術として学び、自分で出来ないもしくは制限がある対象者に実践する科目です。前期の看護技術論演習や形態機能学等の関連科目とのつながりも密接で、看護を学んでいる実感、大変さの中にも面白さ、奥深さを感じることができる科目です。積極的に動画や教科書、文献を活用して自ら学びを深めてください。</p>

